

平成28年度老人保健健康増進等事業

＜地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析と計画への
反映方法に関する調査研究事業＞

＜株式会社三菱総合研究所＞

1. 事業目的

本事業では自治体が第7期介護保険事業（支援）計画を策定する際に実施する地域分析及び計画期間中に実施する地域分析の視点の例を示し、自治体が地域包括ケア「見える化」システムを活用して課題認識や施策の検討の示唆を得るための実践的なガイドラインを作成することを目的として実施した。

2. 事業概要

(1)自治体を実施する地域分析の視点の例の検討

4自治体へのヒアリング調査等を通じて、地域分析に際して必要となる視点の例の検討を行った。

(2)地域分析の手順例の検討

自治体を実施することが望ましい地域分析について、実施の手順例の検討を行った。

(3)地域分析及び介護保険事業（支援）計画への反映方法に関するガイドラインの策定

自治体が自らの介護保険事業における課題認識や介護保険事業（支援）計画において取り組むべき施策の検討を行う上での示唆を得るための実践的なガイドライン（手引き）を策定した。

3. 事業結果

本事業で提示を行ったガイドライン（手引き）は自治体に地域分析の視点・課題分析・取り得るアクション（施策）に示唆を与えることができるとともに、地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析の手順を提示した。

本手引きは、各市町村の計画づくりにそのまま活用できるものではないが、計画作成委員会での議論のヒントになるよう、一般的に想定される分析結果と対応策について、チェックポイント的に整理したものであるため、考え方の参考として活用されることにより、都道府県・保険者による第7期介護保険事業（支援）計画策定の円滑な策定を支援できるものと期待される。